

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	難病対策の推進のための患者データ登録整備事業経費			担当部局庁	健康局			作成責任者			
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	難病対策課			課長：平岩 勝			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	難病患者のデータを収集・登録することで、症例が比較的少なく、全国規模で研究を行わなければ対策が進まない難病について、一定の症例数を確保し、患者の症状、治療方法、転帰などを把握することにより研究の推進や医療の質の向上に結びつける。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療費助成の対象疾患に罹患した患者であれば医療費助成の有無にかかわらず全員が登録可能なシステムの整備を行う。										
実施方法	直接実施										
予算額・執行額 (単位：百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	152	31	61	109	893				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	87	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	▲ 87	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		65	118	61	109	893				
	執行額		65	15	56	-					
執行率 (%)		100%	13%	92%	-						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 毎 年度
	前年度の医療受給者数		衛生行政報告例による難病法に基づく医療受給者証交付者数		成果実績	-	-	-	集計中	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	前年度以上
					達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	難病患者データの入力数		活動実績	-	-	-	-	-			
			当初見込み	-	-	-	-	-			
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト = X / Y		単位当たりコスト	円/件	-	-	-	-			
	X:「執行額」 Y:「データ入力数」		計算式	X / Y	-	-	-	-			
平成28・29年度予算内訳(単位：百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	社会保障関係情報化業務庁費		109	4	データベースの運用開始のための経費の計上による増 「新しい日本のための優先課題推進枠」889						
	医療情報システム開発等委託費		0	889							
計		109	893								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること								
	施策	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること								
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
		実績値	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	難病患者のデータを収集・登録することで、症例が比較的少なく、全国規模で研究を行わなければ対策が進まない難病について、一定の症例数を確保し、患者の症状、治療方法、転帰などを把握することにより研究の推進や医療の質の向上に結びつけることで、治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等の充実が図られる。									
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-					
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-
目標値			-	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目	評価								
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○ 全国の難病患者データを収集するためのシステムに関する事業であり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。								
事業の効率性	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○ 全国規模のシステムであり、国が実施すべき事業である。								
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○ 難病患者の臨床データを全国的に収集するシステムであり、難病の研究推進のために、優先度の高い事業である。								
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○								
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有								
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-								
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ システム開発経費にのみを支出している。								
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-									
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-								
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-								
	所管府省・部局名	事業番号	事業名							
	-	-	-							
点検・改善結果	点検結果	平成28年度においても引き続きシステムの構築を行う。								
	改善の方向性	引き続きシステムの開発を進める。								

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

難病患者のデータを収集・登録することで、症例が比較的少なく、全国規模で研究を行わなければ対策が進まない難病について、一定の症例数を確保し、患者の症状、治療方法、転帰などを把握することにより研究の推進や医療の質の向上に結びつけるために必要な事業であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	新25-009	平成26年度	156	平成27年度	163	

